



学校だより 5月号

令和3年 4月30日

横浜市立新田小学校

温かく安心できる学校を目指して

校長 村岡 靖

「大きくなったね。」先日登校してきた1年生が竹を見て驚いていました。入学式の時は、ほんの数センチだけ頭を出していた新田小学校の裏庭のタケノコが、一か月たった今では4, 5メートルもある大きなたくましい竹に成長しています。「そうだね。でも、君たち1年生も、この1か月ですくすく成長したよ。」私は微笑んでしまいました。始めは緊張していた1年生も、今ではすっかり新田小学校に慣れてきました。休み時間の校庭は黄色い帽子と笑顔であふれています。給食だって上手に準備して、静かに食べることができています。

種が芽を出し、自然と太陽に向かって伸びるように、子供たちも正しく成長したい、学びたいと思っています。大人はそれを信じて、成長できる環境を整えてあげることが大切です。平成28年の「中央教育審議会答申」にも「全ての子供は、学ぶことを通じて、未来に向けて成長しようとする潜在的な力を持っている」と書かれています。子供たちが安心して大きく成長できるよう、安全・安心な学校づくりを推進していきます。

「おはよう！いってらっしゃい。」朝、学校の坂下の交差点に、6, 7名の地域の学援隊の方々が、黄色い旗を持ち、子供たちを見守ってくださっています。この交差点を、新田小学校のたくさんの子供たちが通ります。学援隊の方々は子供たちの安全のために、毎朝立ってくださっているのです。驚いたことに「特設音楽クラブ」の日には朝練のために7時前から見守ってくださっています。もう何年も毎朝、毎朝です。子供たちは、学援隊の方々と声を交わしたり、挨拶したりしています。新田小学校を卒業した中学生も、学援隊の方々に挨拶をして、中学校に向かいます。学援隊の方々の子供の安全を守ろうとする優しい想いが、新田のまちにあふれているのを感じました。子供のためにこれだけの尊いことをしてくださっている学援隊の皆様に心から感謝します。

地域の方から見守られている、大切にされているという気持ちは、新田小学校の子供たちはみんな感じているのではないのでしょうか。人から大切に思われて育つ子供たちは幸せです。自分を大切な存在だと思えることができます。

今後も学校をサポートしてくださる皆様と一緒に、全ての子供にとって温かく安心できる学校になるように努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。